

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

パヴェーゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

『松山選手に期待!』

ゴルフは、今季のメジャー4大会が終了した。まだ皆さんの記憶に新しいと思うが、松山選手はマスターズ11位、全米オープン2位、全英オープン14位、全米プロ5位という好成績を残した。メジャー最終戦となった全米プロ選手権（8月10日〜13日／ノースカロライナ州）では、2日目にトップに並んで優勝争いに加わると、最終日のバックナインを単独トップで迎えた。日本のゴルフファンだけでなく、多くの人が心を躍らせていたに違いない。しかし結果は、5バーディー、6ボギーの72で回り、通算5アンダー、5位タイに終わり、同じ組でプレーしたジャスティン・トーマス（米国）が通算8アンダーで優勝した。松山選手は、終了後のインタビュで、こう述べている。

「（最終日に優勝争いに加わって）ギリギリの戦いをやるのは楽しいですし、そこで勝てれば、なおさら楽しいと思う。でも、この経験を次にどう生かせばいいのか、何をすれば勝てるのかは、今はわからない。とにかく、こういう場数が増えれば、それだけ（優勝の）チャンスが増えるということだと思うので、そのチャンスをどんどん増やしていけるようにしたい。そのためにも、一生懸命練習したいと思う」

以前、米「ニューヨーク・タイムズ」は、良い時も、悪い時も、感情の起伏を常に抑え、ナイスショットをしてもうれしそうな表情をしない松山選手のことを、「松山にとって最も厳しい評論家は彼自身だ」と評したことがあった。この試合終了後の発言も、きつと自分自身に厳しい、彼らしいコメントである。

今大会は、涙を拭う姿が脳裏に焼きついた方も多と思うが、彼の今シーズンの成績は素晴らしい。メジャーでの優勝にまた一歩近づいたに違いない。

来季も松山選手の活躍をあたためたい目で見守り、彼と同じ時代に生き、ライブで応援することが出来る幸せを噛み締めた。そう思っている。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業（現SRIスポーツ）に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。